

令和 6 年 4 月 23 日現在

機関番号：34440

研究種目：研究活動スタート支援

研究期間：2020～2023

課題番号：20K21947

研究課題名（和文）近代における神代文字の宗教的・政治的意義について

研究課題名（英文）The Religious and Political Significance of the Jindaimoji Script in Modern Times

研究代表者

吉田 唯 (Yoshida, Yui)

東大阪大学・その他部局等・講師

研究者番号：70880847

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 2,200,000円

研究成果の概要（和文）：長らく研究史から排除されてきた「神代文字」の重要性に着目した。神代文字は、江戸時代から近現代まで一部の信奉者によって古代の文字（漢字伝来以前の日本固有の文字）であると信じられており、神代文字に関する書籍についても、非学術的なものが大半を占める。本研究課題は、近世の偽作である神代文字資料に着目することで近世以降の学問史、宗教史、あるいは政治史のなかで神代文字を捉え直し、それが昭和戦時期に興隆を見せた思想的背景を明らかにしたものである。

研究成果の学術的意義や社会的意義

寺院資料の調査をしているチームが対象とする資料は、多くが前近代のものであり、目録作成と大まかな寺院の実体解明が主となっている。特に荒唐無稽な偽書扱いをされている神代文字資料にいたっては悉皆調査では見向きもされず、神代文字信奉者である松本善之助が『合本ほつま』（日本翻訳センター、2013年）などで一部紹介しているに留まっているのが現状であり、近世以降の思想史として考察・分析には及んでいなかった。本研究課題では、寺院所蔵の文献調査に精通した研究者のほか、近世以降の新興宗教や政治史に長けた研究者の協力を得ることで、神代文字資料の重要性を学界に示すことができた。

研究成果の概要（英文）：We have focused on the importance of the Jindai-moji, which have long been excluded from the history of research.

From the Edo period to the modern era, Jindai-moji has been believed by some believers to be an ancient script (a script unique to Japan before the introduction of Chinese characters), and the majority of books on Jindai-moji have been non-academic. This research aims to reconsider the Jindai-moji in the context of academic, religious, and political history since the early modern period by focusing on the Jindai-moji materials, which are early modern forgeries, and to clarify the ideological background of its rise in the Showa period.

研究分野：日本古典文学

キーワード：神代文字 ホツマツタエ 酒井勝軍 平田篤胤

様式 C - 19、F - 19 - 1 (共通)

1. 研究開始当初の背景

本研究課題は、私が執筆した『神代文字の思想—ホツマ文献を読み解く—』(平凡社、2018年)と『神仏習合の手法—中世神話から近世神話へ—』(新典社、2020年)の一部を発展させたものである。両書は、中世から近世における神仏習合神話を対象としたものであり、その領域は、両部神道・浄土真宗・和歌・偽書など多岐にわたっている。その執筆過程で偽書として長らく研究史から排除されてきた「神代文字」の重要性に着目した。

神代文字は、江戸時代から近現代まで一部の信奉者によって古代の文字(漢字伝来以前の日本固有の文字)であると信じられており、神代文字に関する書籍についても、非学術的なものが大半を占める。本研究課題は、近世の偽作である神代文字資料に着目することで近世以降の学問史、宗教史、あるいは政治史のなかで神代文字を捉え直し、それが昭和戦時期に興隆を見せた思想的背景を明らかにすることを目的とした。

神代文字に関する資料は大学図書館や寺院に多く残されているが、多くの寺院調査では神代文字に関する資料は見向きもされず、松本善之助が『合本ほつま』(日本翻訳センター、2013年)などで一部紹介しているに留まっているのが現状である。

2. 研究の目的

本研究課題は、神代文字を近世の偽作として思想史上に位置付けることを目的としており、これこそが、独自の視点である。

特に本研究で採り上げる平田篤胤が神代文字を紹介した『神字日文伝』が昭和戦時期まで与えた影響は、近代の宗教史・政治史、そして近代という時代を考える上で重要な事例として位置付けることが可能となるはずと考えたためである。

神代文字資料の調査に携わる多くが研究者ではなく、神代文字を盲目的に信仰している人々である。一方研究者は、神代文字資料を荒唐無稽な偽書と位置付けているために、寺院調査においても調査対象とならないのが現状である。神代文字とよく似た事例として1912年にイタリアで発見された未解読文字で記されたヴォイニッチ手稿(イェール大学所蔵)があるが、これは書誌学や暗号学等の観点から世界中で研究されている。そこで私は、これまでの寺院調査の経験や方法論を活かし、近世から現代における神代文字の意義と、昭和戦時期に神代文字が与えた影響を解明することを目的とした。

3. 研究の方法

研究の方法は、まず全国の図書館に所蔵されている神代文字関係資料の調査を進め、「神代文字関係資料目録」を作成する。その目録をもとに、資料の性格についての調査と全冊撮影を行うこととした。また、これまでの調査で明らかとなっている他寺院の目録などから神代文字資料を探し出し、寺院間の関わり等も視野に入れていく。このように、神代文字資料を網羅的に探索しながら、それぞれの資料の関係性を提示していく作業も同時に行うことを計画していた。

4. 研究成果

3年の調査で、神代文字で書かれた神話の一つである『ホツマツタエ』の諸本関係や、明治における神代文字の政治利用の一端は究明できた。しかし、コロナと産休で予定よりも調査が出来ていないのが現状である。神代文字の膨大な資料の調査や中世から近代の思想の流れの究明については、次の採択研究で着手したい。

[雑誌論文](計7件)

吉田唯「神代文字の時空間 古代への幻想と国粹主義者たち」(『ユリイカ』52(15)、2020年12月)

吉田唯「神代文字文献と「大祓」の関係 偽書『秀真政伝紀』を中心に」(『東大阪大学紀要』18、2020年度)

吉田唯「偽書『秀真政伝紀』成立の一過程」(『ASIA』7、2020年度)

吉田唯「ホツマ文字についての一試論」(『ASIA』8、2021年度)

吉田唯「酒井勝軍『神字考』における神代文字観 ヒフミ文字・モリツネ文字の意義について」(『ASIA』9、2022年度)

Yui Yoshida "Significance of Military Power in the Jindai Moji Text Hotsuma Tsutae-

With a Focus on Susanoo and Yamato Takeru” (Religions 13(3) 199-199 2022年2月)
吉田唯「平田篤胤と酒井勝軍の神代文字観 「完全言語」として」(斎藤英喜・山下久夫編『平田篤胤 狂信から共振へ』(法蔵館、2023年)

[研究会発表](計1件)

吉田唯「近代における神代文字 篤胤から酒井勝軍」『共振する篤胤』編集委員会、2021年

[その他](計2件)

吉田唯「偽書についての取材」読売新聞社、2020年

吉田唯「古代文字についての取材」読売新聞社、2021年

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計6件（うち査読付論文 2件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 3件）

1. 著者名 吉田 唯	4. 巻 9
2. 論文標題 酒井勝軍の神代文字観	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 ASIA	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yoshida Yui	4. 巻 13
2. 論文標題 Significance of Military Power in the Jindai Moji Text Hotsuma Tsutae?With a Focus on Susano and Yamato Takeru	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Religions	6. 最初と最後の頁 199 ~ 199
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.3390/rel13030199	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 吉田 唯	4. 巻 8
2. 論文標題 ホツマ文字についての一試論	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 ASIA	6. 最初と最後の頁 171 ~ 194
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉田唯	4. 巻 52巻12号
2. 論文標題 神代文字の時空間 古代への幻想と国粋主義者たち	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 ユリイカ	6. 最初と最後の頁 99 - 106
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 吉田唯	4. 巻 7
2. 論文標題 偽書『秀真政伝紀』成立の一過程	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 ASIA	6. 最初と最後の頁 87 - 99
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 吉田唯	4. 巻 18
2. 論文標題 神代文字文献と「大祓」の関係 偽書『秀真政伝紀』を中心に	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 東大阪大学・東大阪短期大学部紀要	6. 最初と最後の頁 136 - 128
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計0件

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------